

事業所名

あすぱれい 田辺校

支援プログラム

作成日

6年

4月

1日

法人（事業所）理念	書道セラピーを基に姿勢を整え心を落ち着け、工作で指先を鍛え、お子様のできたを増やし自信につなげて自己肯定感を高めていく。						
支援方針	書道セラピーを中心とした個別支援。水書道を使い姿勢を整え心を落ち着けます。えんぴつでの支援は筆圧を強くし、きれいに書けることで自己肯定感を高めていきます。書道の後は工作をし、指先の訓練をします。月1回は書作品を作るので、だんだん上手になり、出来た作品を飾って自信がつかます。座って作業をする習慣づけをしていく。工作や遊びで、はさみ、スプーン、おはし、シール、絵具など色々な道具の名前や使い方を覚えていく。						
営業時間	12時	0分	18時	30分	送迎実施の有無	あり	なし
支 援 内 容							
本人支援	健康・生活	集団での工作・遊びの中で、他者とのコミュニケーションがとれるように環境を整え、本児に適した精神的・社会的訓練を行います。物の名前や、道具の使い方を覚えていきます。					
	運動・感覚	「書道」や「かきかた」をすることにより、姿勢を整え心を落ち着かせて集中力を高める支援をします。工作活動や遊びなどを通じて、手先の感覚を十分に活用できるよう支援していきます。					
	認知・行動	水書道や工作で、自分のできないことなど自分の行動を理解し、自己肯定感を高める支援をしていきます。個々の課題に応じて色々なプリントをしていきます。					
	言語 コミュニケーション	職員との会話の中で、話を聞いたり、自分の意見が行けるように支援をしていきます。えんぴつでのお稽古により、読み書き能力の向上をしていきます。言葉で表現できない子どもは、手紙で気持ちを伝える支援をしていきます。					
	人間関係 社会性	職員を介在して自分のできないことなどを理解し、できることに対して自信を持って取り組めるよう力添えをしていきます。小集団での支援にて、仲間づくりと集団への参加ができるよう力添えをします。他者への声掛けができるよう、サポートしながら支援をしていきます。アタッチメント（愛着）の形成と安定をさせる支援をしていきます。子どもが基本的な信頼感を持つことが出来るよう、信頼感をはぐむ支援を行います。					
家族支援	・お子様の様子を聞かせていただき状況把握に努め、必要な支援を共に考えていく。（利用児だけでなくごきょうだいの相談も可） ・本人が自分で考えたり選んだりすることができるように、一呼吸おいてから次の提案をしたり、具体的な選択肢を2つ提示して選ぶ機会を設ける等、具体的な方法をお伝えし、実践していただく。 ・本人のコミュニケーションや判断する仕草等を、個別支援の場面の観察や面談の機会などを通じてお伝えし、共有する。			移行支援		必要に応じて、日常的な連携に加え、特に行事等の際には、説明の方法や促し方について共有を図ります。併行利用先と、子どもの状態やアセスメント、個別計画書など支援内容に関する情報連携を実施します。園・学校の連絡と当事業所の連絡内容を相互に確認し、日々の様子を交換する。	
地域支援・地域連携	必要に応じて、関係機関で役割分担を行うと共に、それぞれの機関で得られた情報を共有し、日常的な生活や支援に活用するための具体策を提案する。学校や他事業所と連携を行い情報を共有していくことで、更なる気づきを見つけ、本人の持っている力を引き出していけるように連携していきます。			職員の質の向上		お子様の状況に応じた支援ができるよう研修や話し合いを行います。必要に応じて外部研修に参加します。	
主な行事等	祝日、小集団による工作イベントを開催。 長期休暇、勉強会開催。						